

信州上田、2022秋の大イベント！ 上田城紅葉まつり&上田真田まつり 同時開催

11月5日(土)・6日(日)

秋の大イベント「上田城紅葉まつり」と、例年春に開催されていた「上田真田まつり」が11月5日・6日に同時開催され、上田城跡公園内は大変にぎわいました。6日は、上田城跡公園や中心市街地を舞台に真田三代武者行列や全国おもてなし武将隊パレードが行われました。真田幸村の少年時代を題材とした決戦劇も披露され、城下町一帯が過去にタイムスリップしたかのような一日となりました。



丸子の鉄道を 語って歩いて繋ごう！

11月11日(金)

丸子公民館カルチャー講座「丸子の鉄道を語って歩いて繋ごう！」が開催されました。1969年(昭和44年)に運行が終了した「丸子線」の線路跡をおよそ2km歩き、丸子鐘紡駅跡から下長瀬駅跡を巡りました。

町の風景は運行当時から様変わりしてしまいましたが、昔の写真をながらかつての思い出を語ったり、山の稜線から駅のあった位置を確認したりと、参加者同士で往時の鉄道風景に思いをはせました。



▲下長瀬駅跡

秋の味覚を楽しむ！ 真田の郷 新そばまつり

11月6日(日)

「第28回真田の郷 新そばまつり」がゆきむら夢工房で開催され、事前予約制で販売された真田産の生そば、姉妹都市である和歌山県九度山町産の富有柿、幸村の郷手作り味噌のセットなどを求めて多くの方が来場されました。会場には、青空市として真田地域の各種団体による販売ブースが設けられ、そば粉を使用したお菓子や真田中学校生徒が農業体験として作った新米などが並び、秋の味覚が盛りだくさんのまつりとなりました。



武石小学校 木質ペレット作り体験

11月11日(金)

武石地域総合センター内に設置したペレットストーブのPRと地域資源の大切さを知ってもらうため、武石小学校4年生が木質ペレットの製作体験をしました。木質ペレットとは「小さな薪」のようなもので、不用材を使うことで資源循環につながります。

児童は、おが屑を専用の機械に入れてペレットを制作し、ペレットへの着火の様子を見学しました。児童からは、「将来林業に携わる仕事がしたい」「地域の資源の大切さを知った」との声があり、地域の財産に触れる貴重な体験となりました。



子育て情報

乳幼児健診の日時は、健診日の1～2か月前に郵送でお知らせします。
※上田地域の10か月児対象の個別健診は、通知はありません。各医療機関へお問い合わせください。

保健こよみ



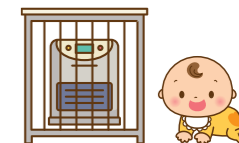
冬の室内事故から子どもを守ろう！

☎ 健康推進課 ☎23・8244

冬は室内で過ごすことが多くなります。赤ちゃんや小さなお子さんが安全に過ごせるように室内を見直してみましょう。

冬に注意するポイント

- ①ストーブやヒーターは、赤ちゃんが直接触れないようにガードして使用する。
- ②湯たんぼ・カイロ・ホットカーペット・電気毛布などは長時間使用しない。(低温やけど予防)
- ③電気ケトルやポットは倒れても中身がこぼれない製品を選ぶ。コードも含め子どもの手の届かない場所に設置する。



窒息・誤飲事故

生後4か月頃から自由におもちゃなどをつかむことができるようになり、何でも口に入れるようになります。化粧品、薬、お金、指輪、針、電池など、後で片付けよう…として、ちょっと置いた物が思わぬ事故の原因になります。暖房器具を使用する冬場は灯油の誤飲事故にも注意が必要です。

〈窒息につながる危険な物〉



実物大サイズ

この円(直径39mm)を通るものは赤ちゃんの口に入るので注意！
母子健康手帳にも掲載があります

折りたたみ式の踏み台 指を挟む事故に注意！

- 乳幼児がいる環境では、可動部のない一体構造や組立式の踏み台を選ぶ。
- 乳幼児が折りたたみ式踏み台に触れることがないように、管理・保管する。



折りたたみ式踏み台

もしもに備えて

事故が起こってしまったとき、慌ててパニックにならないように簡単な応急手当やかかりつけ医・緊急連絡先を事前に確認しましょう。新生児訪問の時に配布している「～子どもの急な病気・ケガ～困った時のガイドブック」も参考にしてください。

こどもの救急・病児保育



「子どもが子どもでいられる社会」の実現を目指して

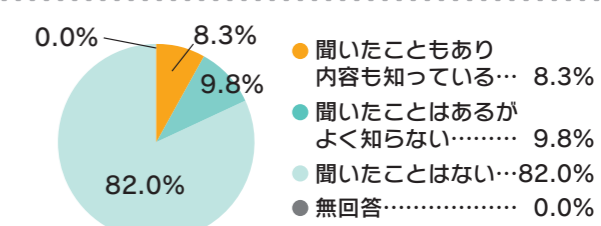
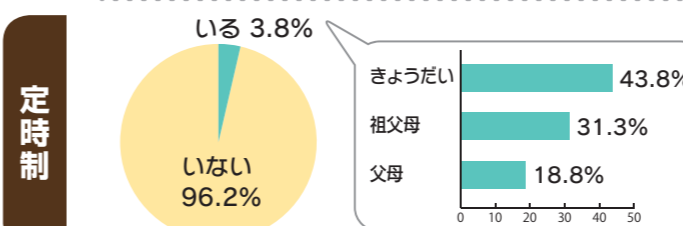
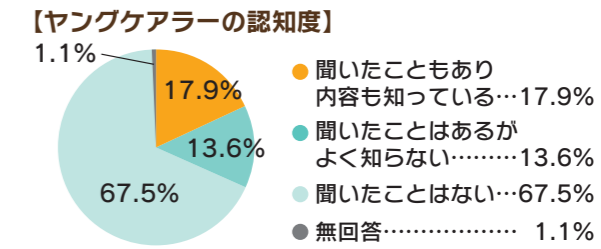
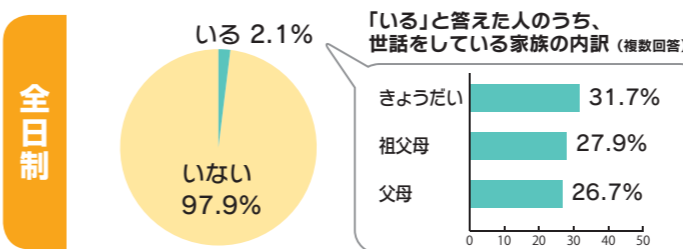
ヤングケアラーを支える ③

☎ 子育て・子育て支援課 ☎23・5106



「ヤングケアラー」ってどれくらいいるの？

令和3年9月に長野県教育委員会が県内の高校生の生活実態と「ヤングケアラーと思われる子ども」の実態把握などを目的として行ったアンケート調査では、全日制(回答者12,036人)の2.1%、定時制(回答者388人)の3.8%の高校生が「世話をしている家族がいる」と回答しています。また、全日制の67.5%、定時制の82.0%の高校生はヤングケアラーという言葉を知り「聞いたことはない」と回答しています。ヤングケアラーであることに自分自身が気づいていないこともあると考えられます。



出典:長野県教育委員会「ヤングケアラーに関するアンケート調査結果について」